

# 長井市地域おこし協力隊活動報告



やまさき しょう  
山崎 翔 (38)

熊本県出身

2022.04~ 協力隊着任

活動テーマ

## SENN の利活用を通じた関係案内所の創出

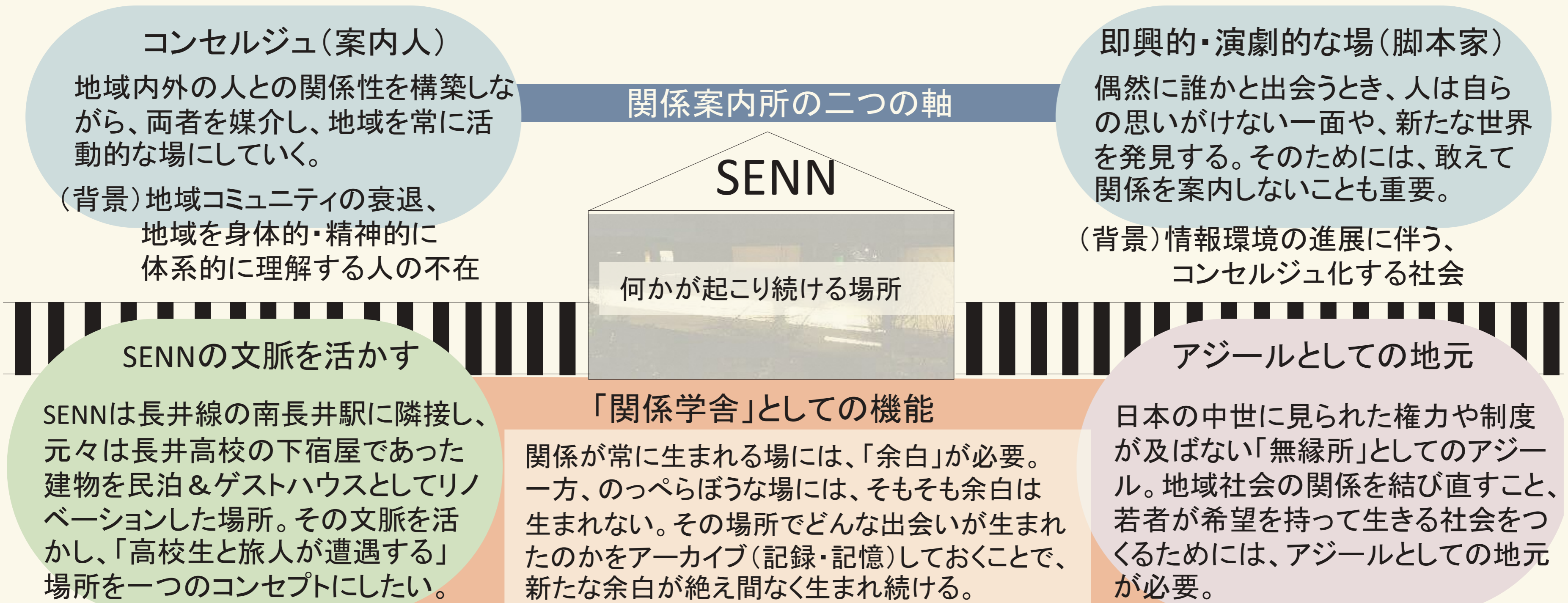
長井を中心としたアルカディア地方一帯の関係人口創出のための拠点（関係案内所）づくり

協力隊になったきっかけ

2016年に「フェス」や「祭り」といった「縁」に関わる研究を通じて長井と出会いました。その後、長井に継続的に通う中で、研究対象としてではなく、自らが長井に住み、「地域社会に根づくこと」について、実践的に考えてみたいと思い、協力隊として関わることを決めました。

関係人口・関係案内所の創出とは・・・定住や(観光を通じた)交流とは異なり、地域との何らかのかかわりを持つ関係人口の創出を通じて、地域の持続的・創造的なまちづくりを行うこと。関係人口を創出するためには、地域内外の人びとの出会いを媒介する関係案内所があることが望ましい。

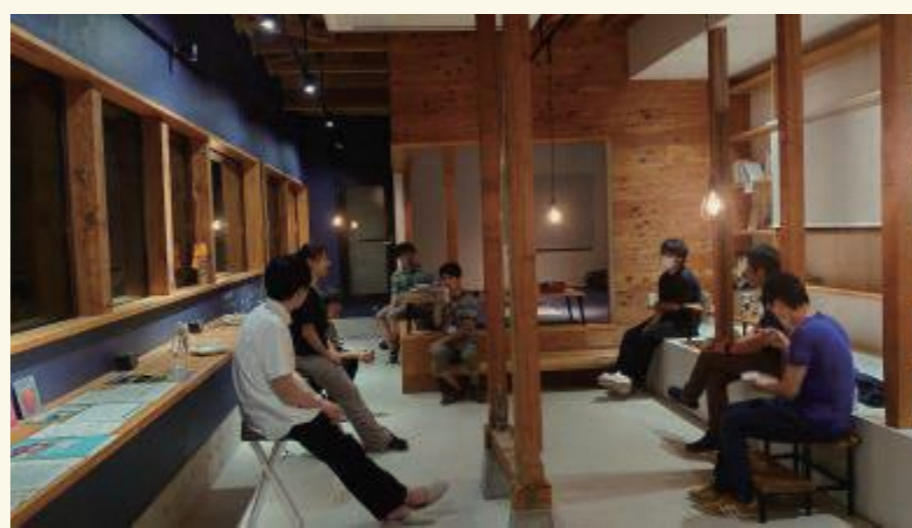
(今年度はそもそも「関係人口」、「関係案内所」とは何かを考えるための様々な実験を行いました。下記は、今年度の成果をもとにした関係案内所の構想をイメージしたものです。)



(今年度の実験成果の一部)



(北海道の学生、地域おこし協力隊の方が制作したSENNのポスター)



(大学生と長井の大人たちが本音で語り合うコマ)



(「ぼくらの文楽」アーカイブプロジェクトを通じて、みんなの「ルーツ」(根)を地域内外の人と一緒に考える)

## 今後の抱負

今年度は、私の大学での講義を受講していた北海道の学生が、SENNを拠点に、長井の人や場所の関係性の中を冒険してくれました(「関係ノート～SENNをめぐる冒険～」をウェブ上に掲載)。今後は、その関係の土壌が、私の手から直接離れ、学生がさらなる学生を呼び込んだり、学生と地元の高校生が、ともに偶然の出会いや地元で生きることについて、実践し考えてくれるはずです。私はその活動の伴奏役をしながら、その活動を記録していきたいと思っています。